

エネルギーシステム計画・評価技術



「建物・街区エネルギーシステム総合評価プログラム」は建物や街区におけるエネルギーシステムの最適化検討プログラムです。

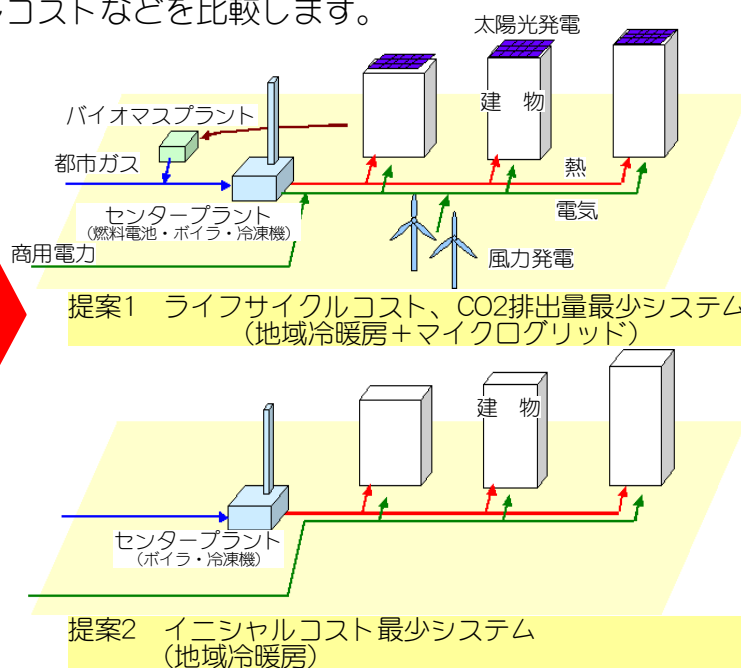
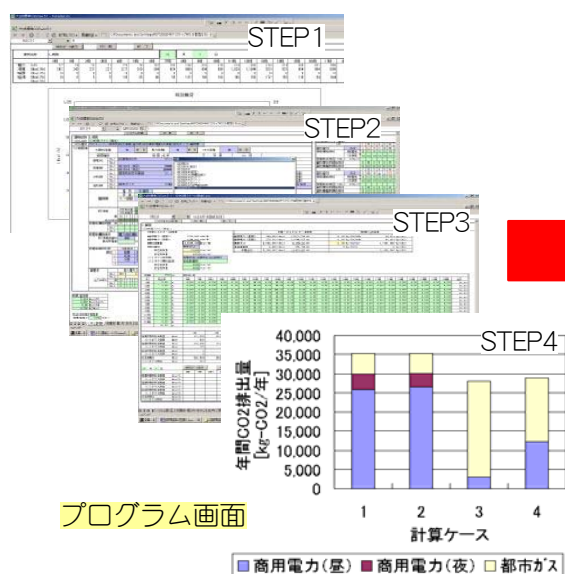
お客様のメリット

分散型エネルギーの活用を含め、約300通りのシステムの中からCO2排出量最小化やライフサイクルコスト最小化、イニシャルコスト最小化等、お客様のニーズに合わせて最適なエネルギーシステムをご提案いたします。

技術の特徴

■検討手順

- STEP1：建物や街区のエネルギー需要（冷暖房・給湯・電力需要）を予測します。
- STEP2：エネルギーシステムを設定します。（約300システムから選べます。）
- STEP3：エネルギー計算を行います。（1～3分程度で計算完了）
- STEP4：CO2排出量、ライフサイクルコストなどを比較します。



実績・事例

- ・燃料電池マンション計画 (平成17年度、環境省)
- ・大学キャンパス マイクログリッド計画 (平成17年度、エネルギー会社)
- ・地方都市 バイオマスを活用した地域冷暖房システム (平成18年、地方自治体)
- ・地域冷暖房プラント 更新計画 (平成19年度、NEDO)
- ・次世代エネルギーパーク計画 (平成19年度、地方自治体)
- ・JR恵比寿駅周辺 エネルギー地産・地消システム計画 (平成20年度、日本建築学会コンペ)

■次世代エネルギーパーク

